

練二通信

No. 411
令和3年6月30日
練馬第二小学校
校長 濱中 一

「主体的に学び続ける」

副校長 橋本 誠之

あるファストフード店でハンバーガーセットを六つ買った時、店員さんに「こちらでお召し上がりですか。それともお持ち帰りですか。」と聞かれた。(いくら私でも一人ではこんなに食べられません。)この店員さんは「教えられたこと」を教えられた通り、マニュアルに沿って行っているだけで間違っていないが、違和感があるのは私だけではないはず。

「教えられる」知識も大切ですが、これからは「主体的に学ぶ」姿勢が重要となります。もしも、この店員さんに「自ら学ぶ」「主体的に学ぶ」姿勢があったならば、ちくはぐなやり取りにはならず、状況に応じて、よりよい判断ができたのではないかと考えてしまいます。

さて、本校では「主体的に学び続ける児童の育成」を研究主題に取り組んでおります。学習指導要領で「主体的に学習に取り組む態度」には、二つの側面が示

されています。一つは「粘り強い取組を行おうとする側面」もう一つは「自らの学習を調整しようとする側面」です。

「粘り強い取組」とは、文字通り、漢字練習や計算ドリル、新聞づくり、話し合い活動等に粘り強く取り組み、漢字の知識や計算の技能、考えたり、書き表したりする思考力、表現力等を高めよう、身に付けようとしている姿を指します。

もう一つの「自らの学習を調整しようとする側面」は、「見通し」「解き方や表し方の工夫」「振り返り」という三段階で子供たちの姿を見取ります。

「見通し」では、目標や学習計画を立てたり、学習内容に興味をもち、学ぶことに意義を見出したりする姿です。本校でも、外発的な動機付け(「させられて」「仕方なく」のやる気)ではなく、内発的な動機付け(「大切だから」「自分がしたいから」のやる気)を引き出し、子供自ら目標や学習計画を立てる工夫をした授

業を行っています。

「解き方や表し方の工夫」では、一人で考える時間(一人思考)と、集団で考える時間を深める時間(集団思考)を設け、話し合い活動等にICT機器を駆使しながら、一層の充実を図っております。

「振り返り」では、学習後に自分の努力に対し評価します。目標達成への成否、学べてよかったこと等の満足感・不満足感。また、成功や失敗の原因の振り返りが適切に行えるように指導しています。

この「振り返り」を受けて、次時の学習内容や学習方法を考えることが、最初の「見通し」の段階につながります。そして、この三つの段階を何度も繰り返し行うことで、「主体的に学び続ける児童」の姿に近づくと考えております。

七月下旬からは長期休業になります。ぜひ、「主体的に学ぶ」に挑戦する絶好の機会です。ゲーム機による遊びだけではなく、子供自らが物事を考え、さまざまな体験を通して、判断し、発見がある楽しい日々を過ごすことを願っております。ぜひ、ご家庭でお子さんと一緒に、ワクワクドキドキした夏休みを楽しんでいただければと思います。

六月の朝会より

○練二小ではいじめを絶対に許さない。学校でも、放課後でも、SNSでも、禁止言葉を絶対に使わない。悩んだときは、大人の人に相談しよう。練二小の先生方は、親身になって相談してくれる優しい人たちです。

○移動教室や社会科見学を支える現地の方や役所の方。遠足や学校行事を計画する先生方。準備をしてくれる家族。大いに楽しもう。そして、支えてくれた多くの人への感謝を忘れてはいけない。

○今日から水泳・プールでの学習が始まる。息ができないと苦しい。足がつかないと怖い。それでも体育で学ぶのは、浮かんんだり泳いだりできるようになったとき、日常では味わえない喜びを味わうことができるから。安全の約束をしっかり守り、二年ぶりの水泳・プールでの学習を存分に楽しもう。

七月の行事予定

- 5 (月) 委員会活動
- 9 (金) 練二ランド
- 10 (土) 学校公開日
- 12 (月) クラブ活動
- 13 (火) 保護者会(一〜三年)
- 15 (木) 保護者会(四〜六年)
- 20 (火) 終業式 午前授業 給食終了
- 21 (水) 夏季休業日始 学力補充教室(〜7月27日)
- 28 (水) 夏季水泳指導始

★夏休み水泳指導予定

7月28日(水)〜8月4日(水)

※土日は休み

★二学期始業式

9月1日(水) 給食始

一〜四年生 四時間授業
五・六年生 五時間授業(委員会活動)



今年度の水泳指導について

体育的行事部

今年度の一学期の水泳指導は六月十一日から七月十九日まで行い、また夏季水泳指導については七月二十八日から八月四日まで行う予定です。

昨年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、水泳指導を行うことができませんでした。それだけではなく、子供たちが水に親しむ環境自体が制限されてしまう状況でした。

しかし今年度は、水の危険から身を守る術を身につける観点から、短い間ですが水泳指導を行うことにしました。新型コロナウイルス感染症対策を常に実施し、皆が楽しみながら学習できる水泳指導を行っていきます。



「自分の身は、自分で守る。」

その力をつけるために・・・

生活指導部

五月三十一日に、練馬警察の方に来ていただいた一年生と四年生で、セーフティー教室を実施しました。

一年生は、「不審者対応」で、危険な状況がどんなところにあるのかを具体的に紹介した映像を見て、お話をうかがいました。

特に、「いかのおすし」

いか（行かない）

の（車に乗らない）

お（大声でさけぶ）

す（すぐにげる）

し（知らせる）を学びました。

いざというときに、どのように行動すれば良いかを知っておくことが、安全に過ごすためには必要です。

四年生の「万引き防止」がテーマの映像は、人ごととは思えない内容で、子供たちは、真剣に考えることができました。ちよつとした気持ちの緩みが、万引きを引き起こしてしまうことを知るとともに、**万引きは犯罪**であり、人のものを絶対盗んではいけないことを強く、認識しました。

残念ながら、世の中には、悪い人や、弱い気持ちに負けてしまう人がいます。自分の身は、自分で守る（自分を大切にすること）が大切です。自分ができることは何かを考え、力を付けることが必要です。ご家庭でも、不審者対応について話題にしてはいかがでしょうか。

総合的な学習の時間に

ゲストティーチャーをお迎えして

四年担任

6月2日ゲストティーチャーから目の不自由な方がどのような生活を送っているのか、お話を伺いました。

お味噌汁に入れる大根を包丁で切ったり、腕時計の針を触って時刻を確認したりする姿を実際に見せていただき、どのように生活しているのかを知ることができました。

後半は点字機を使い、子供たちが文章を打つ体験をしました。ゲストティーチャーへの感謝の気持ちを長文の点字で伝えることができた子もいました。

6月9日には、耳の不自由な方のお話を伺いました。

目覚まし時計の音では気付くことができないうので、振動で起こす目覚まし時計を触らせて頂きました。予想以上の激しい振動にみんな驚いていました。

後半は、「おはようございます。」「よろしくおねがいします。」「ありがとうございます。」「日常生活でよく使う手話を学びました。

このような体験を通し、子供たちは、目や耳が不自由な方が困っていたら、自分から声をかけて、手助けしたいと意欲を高めていました。大変貴重な体験をさせていただきました。

ヤゴ救出大作戦！

三年担任

梅雨の訪れにはまだ早い五月二十六日、三年生はある一大プロジェクトを行いました。それは、ある生き物の命を救う大作戦。その生き物とはトンボの幼虫であるヤゴを、プールの中から無事に救うことでした。

予報では当日の天候は曇。それでも、子供達はこの日を遠足の時と同じように心待ちにしていました。思い思いの虫取り網、お家の人と一緒に作ったであろう、頑丈な自作の網。

あとは、やさしい気持ちでヤゴを救出するだけ。初めは、素早いヤゴの不規則な動きについていくのに苦戦していましたが、子供たちとヤゴの気持ちの重なり、次第に次々と救出されていきました。子供たちは大喜びでした。水のヌルヌルに思い思いの感想を抱いて、たくさんさんのヤゴを捕まえることができました。

この後、ヤゴの餌や飼育の仕方を学習し、羽化させたいと思っています。そして、大きく成長したトンボが練馬第二小学校の校庭を元気に羽ばたく姿を心待ちにしています。

